



平成29年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年5月10日

上場会社名 株式会社パルマ
 コード番号 3461 URL <http://www.palma.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東
 (氏名) 高野 茂久
 (氏名) 上村 卓也
 TEL 03-5501-0358

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第2四半期の業績(平成28年10月1日～平成29年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-----|-------|------|-------|------|-------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年9月期第2四半期 | 758 | 145.1 | 81 | 117.8 | 79 | 114.5 | 62 | 71.0 |
| 28年9月期第2四半期 | 309 | 5.0 | 37 | 10.8 | 37 | 10.4 | 36 | 83.5 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年9月期第2四半期 | 46.47 | 41.67 |
| 28年9月期第2四半期 | 27.53 | 24.70 |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-----|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 29年9月期第2四半期 | 1,612 | 750 | 46.5 |
| 28年9月期 | 1,225 | 687 | 56.1 |

(参考)自己資本 29年9月期第2四半期 750百万円 28年9月期 687百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年9月期 | | 0.00 | | 0.00 | 0.00 |
| 29年9月期 | | | | | |
| 29年9月期(予想) | | | | 0.00 | 0.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|------|------|-----|------|-----|-------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 1,283 | 18.1 | 172 | 4.8 | 170 | 4.4 | 117 | 0.6 | 87.14 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 29年9月期2Q | 1,349,200 株 | 28年9月期 | 1,348,400 株 |
| 期末自己株式数 | 29年9月期2Q | 52 株 | 28年9月期 | 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 29年9月期2Q | 1,348,662 株 | 28年9月期2Q | 1,331,200 株 |

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| 第2四半期累計期間 | 5 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 6 |
| (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |
| 3. その他 | 8 |
| 継続企業の前提に関する重要事象等 | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間において、セルフストレージ業界は、都市部を中心としたコンテナ型セルフストレージに対しての建築確認等の影響が見受けられるものの、地方を中心とした小規模事業者によるコンテナ型セルフストレージへの参入は引き続き活発に続いております。また、国内外の投資家及び事業会社による首都圏を中心とした建物型セルフストレージへの取り組みも拡大しており、セルフストレージマーケットは全体として引き続き拡大基調にあります。

このような事業環境におきまして、当社は、セルフストレージ事業者向けで唯一のフルサービスのソリューションプロバイダーとして、セルフストレージビジネスに関するさまざまなソリューションを提供してまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は758,702千円（前年同四半期比145.1%増）となりました。損益面では、営業利益は81,220千円（前年同四半期比117.8%増）、経常利益は79,660千円（前年同四半期比114.5%増）、四半期純利益は62,669千円（前年同四半期比71.0%増）となりました。

当社は単一セグメントのため、セグメントごとの記載はございません。サービス別の概況は以下の通りであります。

(ビジネスソリューションサービス)

当サービスは、セルフストレージ事業会社向けに滞納保証を付加したアウトソーシングサービスを提供するものであります。当第2四半期累計期間におきましては、新規取引先からの受託件数の増加に加え、ターンキーソリューションサービスで開発したセルフストレージからの受託件数も順調に増加し、引き続き堅調に推移しました。以上の結果、売上高は310,651千円（前年同四半期比7.9%増）となりました。

(ITソリューションサービス)

当サービスでは、セルフストレージ事業における業務効率化のためのITシステム開発・運用を行っております。当第2四半期累計期間は、セルフストレージWEB予約決済・在庫管理システム「クラリス」の導入室数が順調に増加しました。以上の結果、売上高は11,641千円（前年同四半期比5.5%増）となりました。

(ターンキーソリューションサービス)

当サービスは、投資家及びセルフストレージ事業者向けにセルフストレージ物件の開発、販売及び仲介を行っており、セルフストレージ事業を直ちに稼働できる状態で提供しております。当第2四半期累計期間は、引き続きセルフストレージ開発用地の取得が順調に進みました。また、販売用セルフストレージ物件を売却した結果、売上高は436,408千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

流動資産は、前事業年度末と比べて376,784千円増加し、1,558,747千円となりました。これは主に販売用不動産が96,400千円減少した一方で、仕掛販売用不動産が385,382千円増加及びその他流動資産が19,352千円増加したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末と比べて10,742千円増加し、53,843千円となりました。

この結果、第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比べて387,527千円増加し、1,612,591千円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前事業年度末と比べて353,296千円増加し、609,076千円となりました。これは主に、短期借入金が305,500千円増加したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末と比べて28,563千円減少し、253,292千円となりました。これは長期借入金が28,563千円減少したことによるものであります。

この結果、第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比べて324,733千円増加し、862,368千円となりました。

(純資産の部)

純資産合計は、前事業年度末と比べて62,794千円増加し、750,222千円となりました。これは主に、四半期純利益の計上に伴い、利益剰余金が62,669千円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ、84,323千円増加し、636,305千円となりました。

また、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、202,484千円（前年同四半期は251,087千円の資金の減少）となりました。これは主に、セルフストレージ開発に係るたな卸資産が288,982千円増加したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、14,364千円（前年同四半期は14,097千円の資金の減少）となりました。これは主に、関係会社株式の取得による支出17,400千円があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、301,173千円（前年同四半期は262,406千円の資金の増加）となりました。これは主に、短期借入及び長期借入による収入がそれぞれ305,500千円、260,000千円あった一方で、長期借入金の返済による支出264,452千円があったことによるものです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月期の通期業績予想につきましては、変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成28年9月30日) | 当第2四半期会計期間 (平成29年3月31日) |
|---------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 581,983 | 666,306 |
| 金銭の信託 | 1,350 | 1,350 |
| 売掛金 | 78,515 | 61,584 |
| 求償債権 | 185,572 | 187,780 |
| 販売用不動産 | 111,979 | 15,579 |
| 仕掛販売用不動産 | 226,269 | 611,651 |
| 繰延税金資産 | 66,520 | 66,343 |
| その他 | 12,484 | 31,836 |
| 貸倒引当金 | △82,712 | △83,686 |
| 流動資産合計 | 1,181,963 | 1,558,747 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 3,129 | 4,613 |
| 無形固定資産 | 28,756 | 21,778 |
| 投資その他の資産 | 11,215 | 27,450 |
| 固定資産合計 | 43,100 | 53,843 |
| 資産合計 | 1,225,063 | 1,612,591 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | - | - |
| 短期借入金 | 20,000 | 325,500 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 35,345 | 59,456 |
| 未払法人税等 | 34,137 | 28,974 |
| 前受収益 | 112,703 | 119,761 |
| その他 | 53,595 | 75,384 |
| 流動負債合計 | 255,780 | 609,076 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 281,855 | 253,292 |
| 固定負債合計 | 281,855 | 253,292 |
| 負債合計 | 537,635 | 862,368 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 282,509 | 282,609 |
| 資本剰余金 | 192,958 | 193,058 |
| 利益剰余金 | 211,958 | 274,628 |
| 自己株式 | - | △74 |
| 株主資本合計 | 687,427 | 750,222 |
| 純資産合計 | 687,427 | 750,222 |
| 負債純資産合計 | 1,225,063 | 1,612,591 |

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日) | 当第2四半期累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 309,533 | 758,702 |
| 売上原価 | 71,368 | 445,288 |
| 売上総利益 | 238,164 | 313,413 |
| 販売費及び一般管理費 | 200,875 | 232,193 |
| 営業利益 | 37,289 | 81,220 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 53 | 10 |
| 債権売却益 | 462 | 581 |
| 償却債権取立益 | 36 | 70 |
| その他 | 26 | 154 |
| 営業外収益合計 | 578 | 816 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 735 | 2,376 |
| 営業外費用合計 | 735 | 2,376 |
| 経常利益 | 37,131 | 79,660 |
| 税引前四半期純利益 | 37,131 | 79,660 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 10,430 | 16,813 |
| 法人税等調整額 | △9,942 | 177 |
| 法人税等合計 | 487 | 16,990 |
| 四半期純利益 | 36,643 | 62,669 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日) | 当第2四半期累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益 | 37,131 | 79,660 |
| 減価償却費 | 7,091 | 7,057 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | 1,380 | 973 |
| 受取利息及び受取配当金 | △53 | △10 |
| 支払利息 | 735 | 2,376 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | △4,723 | 16,931 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | △562,712 | △288,982 |
| 求償債権の増減額（△は増加） | 625 | △2,208 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | 336,312 | - |
| 前受収益の増減額（△は減少） | △6,983 | 7,057 |
| その他 | △21,748 | 5,068 |
| 小計 | △212,944 | △172,075 |
| 利息及び配当金の受取額 | 53 | 10 |
| 利息の支払額 | △724 | △3,130 |
| 法人税等の支払額 | △37,471 | △27,290 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △251,087 | △202,484 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の払戻による収入 | - | 4,500 |
| 定期預金の預入による支出 | △10,600 | △500 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △270 | △2,118 |
| 無形固定資産の売却による収入 | - | 554 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △3,226 | - |
| 関係会社株式の取得による支出 | - | △16,800 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △14,097 | △14,364 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（△は減少） | 137,500 | 305,500 |
| 長期借入れによる収入 | 133,000 | 260,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △8,094 | △264,452 |
| 株式の発行による収入 | - | 200 |
| 自己株式の増減額（△は増加） | - | △74 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 262,406 | 301,173 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | △2,778 | 84,323 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 526,558 | 551,982 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 523,779 | 636,305 |

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間（自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日）

当社の事業セグメントは、セルフストレージビジネスソリューションプロバイダ事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第2四半期累計期間（自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日）

当社の事業セグメントは、セルフストレージビジネスソリューションプロバイダ事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。